霞小学校　スタートカリキュラム

令和7年度 福山市立霞小学校

幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿

健康な心と体／自立心／協同性／道徳性・規範意識の芽生え／社会生活との関わり／思考力の芽生え／自分との関わり・生命尊重／数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚／言葉による伝え合い／豊かな感性と表現

入学時の児童の姿
◆関心をもったことに積極的に取り組んでいる。
❤「知りたい。」と思ったことを友達や大人に聞いている。
★新しい環境・友達・先生への期待感をもっている。

霞小学校　教育目標～めざす子ども像～
自他を尊重し、主体的に学び続ける児童の育成
～気づき　考え　行動する　子ども～
◆知識及び技能　❤思考力・判断力・表現力等
★学びに向かう力・人間性等　●ことばと数の獲得

【接続の視点】
「人・もの・学び」をつなぐ

鷹取中学校区　めざす子ども像
◆課題の解決に必要な「知識及び技能」を身につけている
❤自ら見出した問いの解決に向けて，仮説・調査し，自分の考えを形成・表現する「課題発見・解決力」を，次の課題発見・解決につなげている
★全ての学習や課題に「主体的」に取り組み，仲間のよさを活かしながら持続可能

スタートカリキュラム

育てたい姿

◆遊びを含め、学習面、生活面において何事も積極的に取り組もうとする。
❤友達や先生に積極的に関わろうとしている。
★気持ちのよい挨拶や返事ができている。
●言葉のまとまりを意識して読むことができている。数を正しく数えることができている。

◆生活の中にある数や言葉、既習事項を学びにつなげている。
❤課題に対して、自分の考えをもったり、友達や先生の意見を最後まで聞いたりしている。
★学級の一員として積極的に活動することができている。
●問題場面をイメージして、問題に取り組むことができている。拗音、長音、「は、を、へ」を正しく使うことができている。

◆言葉の意味や使い方が分かり、使いこなしている。数量や図形の感覚を豊かにしている。
❤課題を見つけ、その課題について対話をしたり、調べて自分なりの答えを探そうとしている。
★1年間の成長を振り返り、2年生への期待と目標をもっている。
●たしざん、ひきざん、平仮名、カタカナの学習をマスターしている。

第1学年（生活科を中心に）

どきどき　わくわく
きょうから霞っこ
新しい友達や生活を楽しみ、親しみをもつ。
（生）わくわくどきどきをみつけよう
　がっこうとなかよくなろう
　ともだちとなかよくなろう
（国）どうぞよろしく
　おはなしききたいな
（算）かずたかちでたのしく
（音）歌って踊ってなかよくなろう
（道）あかるいあいさつ
（図）どんどんかくのはたのしいな
（学）小学校生活で頑張りたいこと
　持ち物の整理

わたしが好きな遊びは鬼ごっこです。理由は、…

ぼくたちの帰り道
安全に気をつけて歩き、安全を守ってくれている人やものに気付く。公園にもルールがあることが分かる。
（生）つうがくろでみつけたよ
（行）たてわり遠足
（道）おかしくないかな

いきものとなかよし
みつけた虫を飼うことを通して、生き物の生命の大切さに気付く。
（生）むしとなかよくなろう
（国）しらせたいな　みせたいな
（行）社会見学
（道）げんきでねあげはくん
　ハムスターの赤ちゃん

せみを捕まえたい。網を持ってきてもいい？

はっけん！！
かすみしょうがっこうのひみつ
校庭・校舎の人やものについて関心をもち、学校生活に慣れ親しむ。
（生）がっこうとなかよくなろう
（国）なんていおうかな
　よくきいてはなそう
　こえにだしてよもう
　としょかんへいこう
　こんなものみつけたよ
（算）10までのかず
　なんばんめ
（道）ぼくはきゅうしょく当番
（学）楽しい給食
　図書館の利用

霞小学校には、ピアノがいっあったよ。

はなややさい
自分で選んだ育てたい植物のお世話をすることを通して、植物の成長に気付く。
（生）はなややさいおおきくなってね
　はなややさいがもっとおおきくなったよ
（国）つぼみ
　おおきくなった
（算）あわせていくつ
　数を整理しよう
　どちらが長い

お花が育つためには太陽と水がいるよ。雨の日にも毎日水をあげたほうがいいよ

なつとなかよし
園所で親しんだ遊びの経験を活かし、身近な季節の遊びを工夫して楽しむ。
（生）なつはおもしろいことがいっぱい
（図）すなやつちとなかよし
（国）こんなことがあったよ
（道）みらいがかいた絵

しゃぼんだまとみずはどちらが強い？

ほしがたのしゃぼんだまできるのかな？

たねやみになったね
種取りや秋植えの活動から植物の成長に関心をもつ。
（生）たねやみになったね
（国）しらせたいな　みせたいな

あきとなかよし
園所で親しんだ遊びの経験を活かし、自然の変化に気付く。
年長児と一緒に楽しく秋遊びができるよう工夫する。
音楽発表会での演奏曲を発表し、交流する。
（生）あきをみつけよう（虫探し、どんぐり、まつぼっくり拾い）
　たのしいねあきのあそび
　ようこそあきのテーマパーク（交流）
（国）しらせたいなみせたいな
　こえをあわせてよもう
　かずとかんじ
（算）たしざん
　ひきざん
　たすのかなひくのかな
　かたちあそび
（音）どれみとなかよくなろう
　がっきとなかよくなろう
（道）くりの実

幼稚園では、どんぐりめいろを作ったよ。どんぐりめいろで通った道を得点にすると、幼稚園の子達は楽しいかな？

ふゆとなかよし
冬の自然や町とかかわる活動を通して、冬の特徴や季節の変化に気付く。
風・氷・影・雪などの冬の季節ならではのものを使って遊ぶ。
（生）きこえてきたよふゆのあしおと
　さむくなってもあそぼうよ
（国）日づけとようび
　てがみでしらせよう
（図）わくわくおはなしすごろく
（音）日本の歌を楽しもう
　様子を思い浮かべよう

冬はなんで虫がいないの？どこにいるの？

桜の葉っぱがなくなっちゃった。大丈夫？

ぼくは、音読がすらすら、気持ちを込めてできるようになった

だいすき　かぞく　ぽかぽかだいさくせん
家庭生活にかかわる活動を通して、自分でできることを考える。
自分の役割を積極的に果たそうとする。
（生）かぞくだいすきだよ
（道）サバンナの子ども

がんばったよー年生
もうすぐ2年生
1年間を振り返ったり、幼児と交流したりする活動を通して、他者に関わるよさやできるようになったことに気付く。
自分の成長への願いをもって生活しようとする。
6送会で6年生に感謝の気持ちを伝える。
参観日で周りの人への感謝や自らの成長を伝えられるようにする。
（生）もうすぐ2年生
（国）いいことといっぱい1年生
（学）1年間を振り返って
　6送会に向けて
　新しい1年生へ
（児）6年生を送る会

はるとなかよし
校庭などの身近な場所で春の訪れに気付く。
（生）きこえてきたよ
　はるのあしおと

環境構成

15分×3のモジュール学習
（国語や音楽を組み合わせて、集中力の途切れない授業を柔軟に組む。）

のんびりタイムと運動タイム
（1時間目の前に粘土や塗り絵、お絵かき、折り紙、縁つなぎなど自由遊びに取り組めたり、体を動かしたりする時間を確保する。）

視覚支援
（児童の自立を促すため、絵や写真、シールやかご等を活用して、自分で朝の準備や片付け、時間を意識できるようにする。）

使いたいものが手に取れる環境
（ペンや紙の端切れ、テープなどが自由に手に取れる環境づくりを行う。）

児童の導線を意識する
（給食当番の道、黒板に出て説明しやすい机の配置、友達と交流がしやすい形を考えて、児童に提示したり、一緒に考えたりする。）

6年生の支援
（自立できるように、最初の1週間は見本を見せてもらったり、教えてもらったりする。サポートを除々に減らし、見守ってもらうようにする。）

日直・当番活動
（年長児に培った当番活動の経験をいかし、日直・給食当番など自分たちでできる活動を仕組んでいく。子ども達とクラスにあったらいいなと思う係を考え、実践する。）

就学前の学びの想起
（活動前に「園ではどうだった？その経験をいかしてさらにどうしようか？」と就学前の学びをいかした学習にする。）

児童のつぶやきを大切にした授業
（「分からない。」「やってみたい。」というつぶやきを大切にし、クラスのみんなで解決していく。）

年長児との関わり
（秋のテーマパークやチューリップ植え、入学体験を年長児と行うことで、2年生に向けての期待を高める。）

話し合い活動
（輪になって児童が顔を合わせながら、子ども達同士で語り合う時間を設ける。）

地域の特色
（昔遊びでは、地域の方と連携をし、昔遊びを教えてもらう。交流前や交流後に教室にもけん玉やお手玉、あやとりなどを置き、児童が自由に使えるようにしておく。）

失敗しても大丈夫という雰囲気づくり
（「困っている。」「分からないから教えて。」「大丈夫。一緒にやってみよう。」とクラスのみんなで声をかけあえるよう、温かい声掛けを認める。）

自分の成長を実感
（自分の成長を実感できるよう、参観日の内容を決める。）

教師の存在
（子ども目線に立ち、児童の気持ちに寄り添った対応を心がける。園所での経験を活かせるよう。先回りせず、温かく長い目で見る。）

接続

子ども

入学式・学校生活（六年生）／学校探検（二年生）／一年生を迎える会・遠足（全学年）／体育発表会（全学年）／新体力テスト（六年生）／学区民運動会（園児）／幼保小異年齢交流会（五年生・年長児）／就学時健康診断（年長児）／校内発表会・音楽発表会（年長児・全学年）／秋遊び（一年生・年長児）／おもちゃランド（二年生）／昔遊び（地域）／入学説明会（年長児）／入学体験（一年生・年長児）

教職員

スタート訪問（園所の先生）／一年生連絡会／夏遊びの経験の交流／教職員の保育・授業参観（小学校教員）／秋遊びの経験の交流／幼稚園訪問／協議会／入学児童連携／通年　園所での経験を連携する

家庭

4月
子どもが安心できる宿題
（1ヶ月間は、家庭でぎゅっとしてもらったり、学校での出来事を話す宿題を出す。）

宿題・時間割の確認のお願い
（自立に向けて、自分で準備ができるようサポートをお願いする。）

4月学級懇談
（4月の様子、児童、保護者の不安なところ、これからの教育方針の交流を行う。）

家庭と学校がつながる
（連絡帳でのやりとり、電話や対面でのお話、家庭学習の状況、学校での様子を丁寧に連携する。）

7月個人懇談
（1学期の様子の交流やこれからの教育方針の交流を行う。）

大きなかぶの音読劇
（児童の学習の様子を知ってもらうために、音読劇を撮影し、懇談会で見てもらう機会を

規則正しい生活の呼びかけ
（生活リズムチェックを活用して、長期休暇明けに「早寝・早起き・朝ごはん」を意識してもらう。）

12月個人懇談
（2学期の様子の交流やこれからの教育方針の交流を行う。）

1年間の成長の報告
（参観日を活用して、1年間の子ども達の成長を伝える発表内容にする。2年生への期待感をもってもらう。）

2月懇談
（3学期の様子や1年間での課題、頑張りを交流する。）

成果と課題

○園所の先生に会うことで、小学校に入学し、不安感や疲れを感じている児童の元気の源になった。
○連携を通して、児童の困り感、思い、支援方法を教職員が共有することができた。
○年度初めに幼保小連携の計画を立てることで、園所の先生方といつ、どのような目的で連携をしたいのかを確認することができた。
△スタート訪問を実施できなかった。児童の安心感をあげるためにも、4月3～4週目に園所の先生にスタート訪問してもらえるよう連携を行う。

○生活科「秋のテーマパーク」の学習を通して、園児の気持ちを考えた遊びや分かりやすい説明の仕方を自分達で考え、実施することができた。
○6年生のサポートをなくし、1年生は「自分達でできることは自分達で頑張ろう。」を9月の目標にすることで、自分達で考えたり、支え合ったりして自立することができた。
○12月に園所に見学に行くことで、次年度入学する子ども達の様子を参観することができた。

○協議会で園所の先生とスタートカリキュラムを交流することで、園所で園児がつけた力を確認することができた。
△年長児体験会、参観日、6年生を送る会があるので、教師が見通しをもって、子ども達と内容などを決めていく必要がある。